



栗田工業株式会社

2023年3月期 第2四半期
決算説明会

(証券コード：6370)

2022年11月1日

1	2023年3月期 上期実績	p 1 -10
2	2023年3月期 通期見通し	p11-20
3	重点施策の進捗	p21-25

1 | 2023年3月期 上期実績

(単位：億円)		2021/9期	2022/9期	前年同期比	上期見通し (7/29発表)	
受	注	高	1,478	2,004	+ 35.6%	1,780
売	上	高	1,352	1,607	+ 18.8%	1,605
事	業	利	149	166	+ 11.6%	173
そ	の	他	△ 1	△ 3	—	△ 7
の	の	の				
支	支	支				
営	業	利	147	163	+ 10.8%	166
税	引	前	112	175	+ 56.9%	166
親	会	社				
の	所	有				
者	に	帰				
属	す	る				
四	半	期	57	124	+ 117.0%	112
利	益	利				
益	益	益				
基	本	的				
1	株	当				
た	り	四				
半	期	利				
益	益	益				
(円)	(
円)						
為	替	レ				
替	レ	レ				
ト	ト	ト				
	USD	(
	円)	(
	円)	(
	円)	(

- 税引前四半期利益以下の利益は、ペンタゴン・テクノロジーズ社の株式追加取得に伴う金融収支の影響（今期：デリバティブ取引差益 + 11億円、前期：非支配株主と締結した株式の先渡契約に係る負債の事後測定による費用△36億円）により大幅に改善。

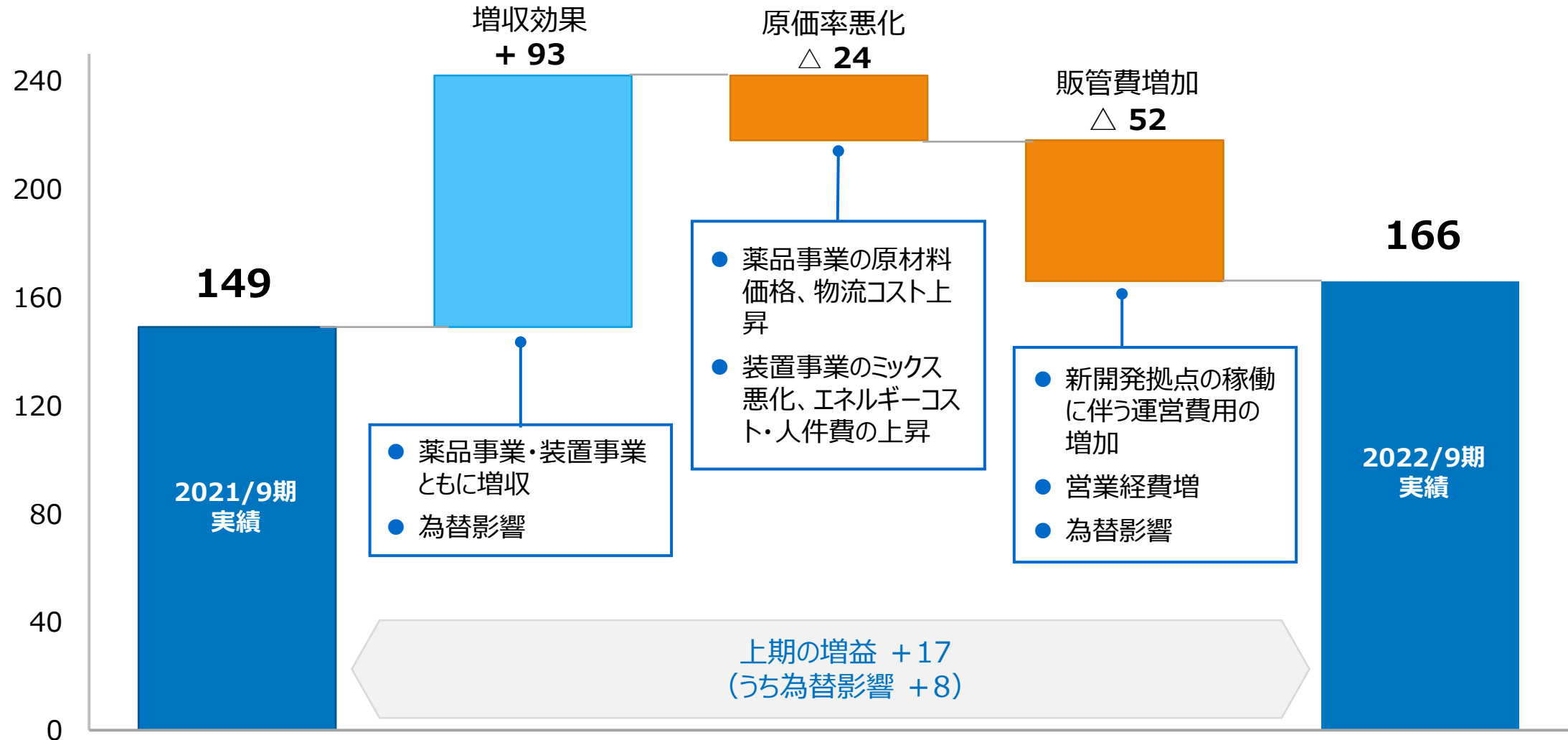
セグメント別の実績

(単位：億円)		2021/9期	2022/9期	前年同期比	上期見通し (7/29発表)
全社	受注高	1,478	2,004	+ 526	1,780
	売上高	1,352	1,607	+ 254	1,605
	事業利益	149	166	+ 17	173
	事業利益率	11.0%	10.3%	△ 0.7pp	10.8%
	営業利益	147	163	+ 16	166
水処理薬品 事業	受注高	587	692	+ 105	682
	売上高	581	684	+ 103	675
	事業利益	75	84	+ 9	81
	事業利益率	12.9%	12.3%	△ 0.6pp	12.0%
	営業利益	73	86	+ 13	78
水処理装置 事業	受注高	891	1,312	+ 421	1,098
	売上高	771	923	+ 151	930
	事業利益	74	82	+ 8	92
	事業利益率	9.6%	8.9%	△ 0.7pp	9.9%
	営業利益	75	78	+ 3	88

- 水処理薬品事業は、海外における事業の伸長により増収増益。
- 水処理装置事業の受注高は、国内外の装置およびメンテナンスの受注増により増加。
- 水処理装置事業の売上高は、国内一般産業向けが減収となるも、国内電子産業向けおよび海外が増加し増収。
- 水処理装置事業の事業利益は、増収効果が販管費の増加と原価率の悪化の影響を上回り増益。

事業利益の増減分析（前年同期比）

(単位：億円)



(単位：億円)	2021/9期	2022/9期	前年同期比	上期見通し (7/29発表)
受注高	587	692	+ 105	682
国内	223	225	+ 2	230
海外	364	467	+ 103	452
売上高	581	684	+ 103	675
国内	217	219	+ 1	224
海外	364	465	+ 102	451
事業利益	75	84	+ 9	81
事業利益率	12.9%	12.3%	Δ 0.6pp	12.0%
営業利益	73	86	+ 13	78

- 国内は、一部業種におけるコロナ影響や半導体不足の影響の継続により、前年同期比でほぼ横ばい。
- 海外は、原材料価格の上昇を受けた販売価格の見直しやCSVビジネスの展開、為替換算額増加により増収。
- 事業利益は、増収効果が販管費の増加と原価率悪化の影響を上回り増益。

海外地域別売上高

(単位：億円)	2021/9期	2022/9期	前年同期比	上期見通し (7/29発表)
アジア	128	154	+ 26	152
北南米	116	164	+ 48	162
EMEA	120	147	+ 27	138
合計	364	465	+ 102	451

増減要因（億円）

オーガニック増減	+ 45
為替影響	+ 56

水処理装置事業（国内電子産業向け）



（単位：億円）	2021/9期	2022/9期	前年同期比	上期見通し （7/29発表）
受注高	326	419	+ 93	362
装置	33	88	+ 55	54
メンテナンス	91	103	+ 12	85
超純水供給事業	153	181	+ 27	173
精密洗浄	48	47	△ 1	51
売上高	305	348	+ 43	341
装置	26	39	+ 13	33
メンテナンス	78	82	+ 4	84
超純水供給事業	153	181	+ 27	173
精密洗浄	48	46	△ 1	51

- 装置の受注高は大型案件の受注により増加し、売上高も受注済み案件の工事進捗により増加。
- メンテナンスは、大型案件を中心に受注が堅調であり、受注高、売上高ともに増加。
- 超純水供給事業は、新たに供給を開始した案件の寄与により受注高、売上高ともに増加。
- 精密洗浄は、顧客工場の稼働状況の影響を受け、ほぼ前年同期並みとなり、想定を下回る進捗。

水処理装置事業（国内一般産業向け）



（単位：億円）	2021/9期	2022/9期	前年同期比	上期見通し （7/29発表）
受注高	288	334	+ 45	288
エネルギー・インフラ	251	304	+ 53	252
土壌浄化	23	19	△ 3	23
その他	15	10	△ 4	12
売上高	233	222	△ 11	236
エネルギー・インフラ	201	188	△ 13	197
土壌浄化	18	23	+ 5	26
その他	14	10	△ 4	12

- エネルギー・インフラの受注高は、一般産業向けメンテナンスおよび装置での大型案件受注により増加。
- エネルギー・インフラの売上高は、一般産業向けメンテナンスが増加するも、電力向け装置が減少し減収。
- 土壌浄化の売上高は前年同期を上回ったが、浄化需要の回復の遅れにより見通しを下回る。

水処理装置事業（海外）

（単位：億円）	2021/9期	2022/9期	前年同期比	上期見通し (7/29発表)
受注高	278	560	+ 282	448
装置	116	327	+ 211	219
メンテナンス	75	118	+ 43	116
超純水供給事業	16	18	+ 2	17
精密洗浄	71	97	+ 26	97
売上高	234	354	+ 120	353
装置	84	152	+ 67	154
メンテナンス	63	87	+ 24	87
超純水供給事業	16	18	+ 2	17
精密洗浄	71	97	+ 26	97

- 半導体を中心とした電子産業における旺盛な投資を背景に、受注高は見通しを上回る進捗。
- 中国、韓国ともに、受注高は大型案件の受注により増加、売上高は受注済み案件の工事進捗により増加。
- 米国では、精密洗浄事業が堅調に推移。

地域別売上高

（単位：億円）	2021/9期	2022/9期	前年同期比	上期見通し (7/29発表)
アジア	129	211	+ 82	205
北南米	105	143	+ 37	148
合計	234	354	+ 120	353

増減要因（億円）

オーガニック増減	+ 73
為替影響	+ 46

サービス事業売上高内訳



(単位：億円)	2021/9期	2022/9期	前年同期比	上期見通し (7/29発表)
水処理薬品事業	581	684	+ 103	675
水処理装置事業	630	716	+ 86	721
超純水供給事業	170	199	+ 29	189
国内精密洗浄	48	46	△ 1	51
海外精密洗浄	71	97	+ 26	97
土壌浄化	18	23	+ 5	26
国内メンテナンス	250	253	+3	259
海外メンテナンス	63	87	+ 24	87
その他	11	10	△ 1	12
合計	1,211	1,400	+ 189	1,396

- 水処理薬品事業は、海外における事業の伸長により増収。
- 水処理装置事業では、主に超純水供給事業、海外精密洗浄事業、海外メンテナンスを中心に増収。

設備投資額・減価償却費・研究開発費

(単位：億円)	2021/9期	2022/9期	前年同期比
設備投資額（有形*）	288	265	△ 22
水処理薬品事業	61	40	△ 20
水処理装置事業	227	224	△ 2
減価償却費（有形*）	97	122	+ 25
水処理薬品事業	22	23	+ 1
水処理装置事業	75	99	+ 24
研究開発費	25	30	+ 5
水処理薬品事業	8	9	+ 1
水処理装置事業	17	21	+ 4

* 使用権資産含む。

- 設備投資は、超純水供給事業における投資が増加するも、新開発拠点関連の投資があった前年同期と比べると減少。
- 減価償却費は、超純水供給事業における新たな水供給の開始、新開発拠点の稼働開始により増加。
- 研究開発費は、新開発拠点の稼働に伴い増加。

財政状態

(単位：億円)	2022年3月末	2022年9月末	増減
現金及び現金同等物	457	428	△ 30
その他流動資産	1,327	1,342	+ 15
流動資産合計	1,784	1,770	△ 14
有形固定資産	1,610	1,737	+ 127
のれん	630	715	+ 85
その他非流動資産	676	713	+ 37
非流動資産合計	2,916	3,165	+ 249
資産合計	4,700	4,935	+ 235
流動負債	1,139	1,043	△ 96
非流動負債	782	899	+ 117
負債合計	1,921	1,942	+ 21
親会社の所有者に帰属する持分	2,719	2,967	+ 248
非支配持分	59	25	△ 34
資本合計	2,779	2,992	+ 214
負債及び資本合計	4,700	4,935	+ 235

- 主に超純水供給事業用設備の取得に伴い有形固定資産が増加。
- のれんの増加は、為替影響が主因。
- 流動負債は、コマーシャル・ペーパーの発行により増加したものの、ペンタゴン・テクノロジーズ社に係るその他の金融負債や営業債務が減少。
- 非流動負債は、社債発行により増加。
- 海外子会社の換算差額や利益剰余金の増加により親会社の所有者に帰属する持分は増加。

2 | 2023年3月期 通期見通し

- 国内の景気は、緩やかだが上期よりも回復が進む。
- 海外は前年度の景気回復と比べスローペースだが、下期も回復は継続。
- 電子産業は、設備投資や工場の稼働状況の堅調さが維持されるものの、一部に生産調整の動き。
- 原材料価格やエネルギーコスト、人件費の上昇などのインフレ影響は継続。
- 需給バランスの変化による部材の不足や長納期化は継続。

業績見通しの概要



(単位：億円)		2022/3期 実績	2023/3期 見通し	前期比	前回見通し (7/29発表)
受	注 高	3,152	3,650	+ 15.8%	3,365
売	上 高	2,882	3,500	+ 21.4%	3,380
事	業 利 益	329	390	+ 18.4%	380
そ	の 他 の 収 支	28	△ 10	—	△ 15
営	業 利 益	357	380	+ 6.3%	365
税	引 前 利 益	301	390	+ 29.7%	365
親会社の所有者に帰属する 当期利益		185	276	+ 49.4%	257
基本的1株当たり当期利益 (円)		164.38	245.56	+ 49.4%	228.69
為 替 レ ー ト	USD (円)	112.4	136.0		136.0
	EUR (円)	130.6	140.0		140.0
	CNY (円)	17.5	20.0		20.0

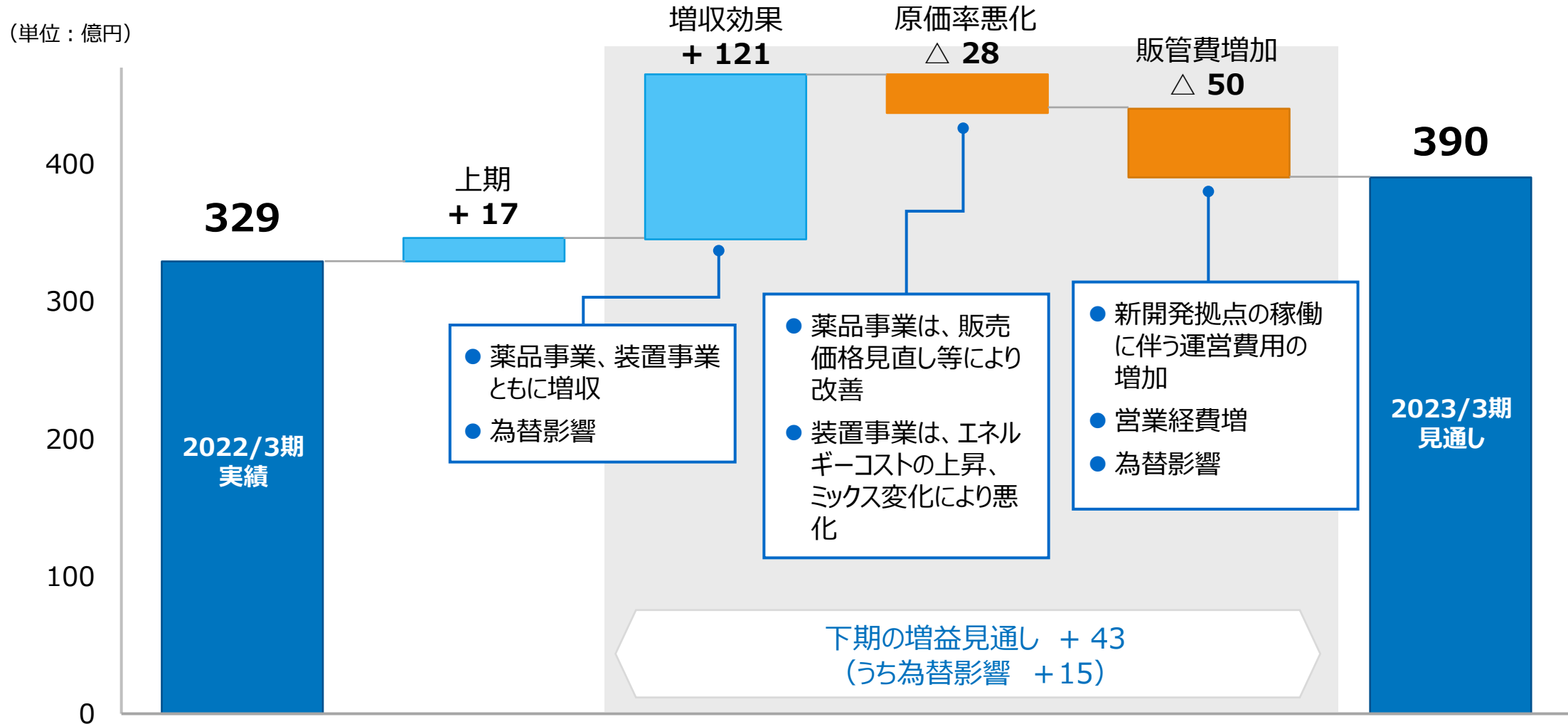
- 上期までの進捗と事業環境を踏まえ、前回見通しから上方修正。

セグメント別の見通し

(単位：億円)		2022/3期 実績	2023/3期 見通し	前期比	前回見通し (7/29発表)
全社	受注高	3,152	3,650	+ 498	3,365
	売上高	2,882	3,500	+ 618	3,380
	事業利益	329	390	+ 61	380
	事業利益率	11.4%	11.1%	△ 0.3pp	11.2%
	営業利益	357	380	+ 23	365
水処理薬品 事業	受注高	1,184	1,365	+ 181	1,340
	売上高	1,177	1,360	+ 183	1,335
	事業利益	136	157	+ 21	151
	事業利益率	11.5%	11.5%	△ 0.0pp	11.3%
	営業利益	146	157	+ 11	147
水処理装置 事業	受注高	1,968	2,285	+ 317	2,025
	売上高	1,705	2,140	+ 435	2,045
	事業利益	194	233	+ 39	229
	事業利益率	11.4%	10.9%	△ 0.5pp	11.2%
	営業利益	212	223	+ 11	218

- 水処理薬品事業は、販売価格見直しの進捗やCSVビジネスの展開状況を踏まえ上方修正。
- 水処理装置事業の受注高は、上期の進捗を中心に反映。売上高は、上期の受注状況を受けて主に国内の電子産業向けおよび海外で上方修正。
- 売上高の上方修正がコスト面の悪化影響を上回り、水処理装置事業の事業利益は上方修正。

通期事業利益の増減要因（前年同期比）



(単位：億円)	2022/3期 実績	2023/3期 見通し	前期比	前回見通し (7/29発表)
受注高	1,184	1,365	+ 181	1,340
国内	434	439	+ 5	448
海外	750	926	+ 176	892
売上高	1,177	1,360	+ 183	1,335
国内	428	434	+ 5	443
海外	748	926	+ 178	892
事業利益	136	157	+ 21	151
事業利益率	11.5%	11.5%	△ 0.0pp	11.3%
営業利益	146	157	+ 11	147

- 受注高、売上高は、国内で上期の進捗を反映し下方修正した一方で、海外は販売価格見直しやCSVビジネスの展開状況を踏まえ上方修正。
- 売上高の上方修正に伴って、事業利益は上方修正。

海外地域別売上高

(単位：億円)	2022/3期 実績	2023/3期 見通し	前期比	前回見通し (7/29発表)
アジア	268	314	+ 46	303
北南米	236	321	+ 85	313
EMEA	245	292	+ 47	276
合計	748	926	+ 178	892

増減要因（億円）

オーガニック増減	+ 71
為替影響	+ 107

水処理装置事業（国内電子産業向け）



（単位：億円）	2022/3期 実績	2023/3期 見通し	前期比	前回見通し (7/29発表)
受注高	867	765	△ 101	723
装置	255	107	△ 147	78
メンテナンス	201	188	△ 13	179
超純水供給事業	315	373	+ 59	365
精密洗浄	96	96	+ 1	102
売上高	651	836	+ 186	801
装置	69	152	+ 83	159
メンテナンス	172	215	+ 43	176
超純水供給事業	315	373	+ 59	365
精密洗浄	95	96	+ 1	102

- 装置の受注高は、上期実績を反映し上方修正。売上高は、一部案件の売上計上が来期へ延期となった影響で下方修正。
- メンテナンスの受注高は、上期実績を反映し上方修正。売上高も上期受注案件の売上貢献を反映し上方修正。
- 超純水供給事業は、上期の進捗を反映し受注高、売上高ともに上方修正。
- 精密洗浄は、顧客工場の稼働状況を踏まえて受注高、売上高を下方修正。

水処理装置事業（国内一般産業向け）



（単位：億円）	2022/3期 実績	2023/3期 見通し	前期比	前回見通し (7/29発表)
受注高	442	631	+ 189	575
エネルギー・インフラ	364	541	+ 178	484
土壌浄化	51	64	+ 14	64
その他	28	26	△ 2	27
売上高	515	539	+ 24	536
エネルギー・インフラ	443	458	+15	449
土壌浄化	44	55	+11	60
その他	28	25	△ 2	27

- エネルギー・インフラの受注高は、メンテナンス需要の回復を踏まえ上方修正。
- エネルギー・インフラの売上高は、受注済み案件の売上貢献を見込み上方修正。
- 土壌浄化は上期の需要回復遅れを反映し、売上高を下方修正。

水処理装置事業（海外）

（単位：億円）	2022/3期 実績	2023/3期 見通し	前期比	前回見通し (7/29発表)
受注高	660	889	+ 229	727
装置	325	456	+ 130	300
メンテナンス	151	181	+ 30	187
超純水供給事業	32	35	+ 2	33
精密洗浄	151	217	+ 66	208
売上高	540	765	+ 225	708
装置	215	337	+ 122	292
メンテナンス	142	176	+ 35	176
超純水供給事業	32	35	+ 2	33
精密洗浄	151	217	+ 66	208

- 海外の装置事業は、電子産業向けが下期も堅調さを維持する見込みから受注高、売上高ともに上方修正。
- 中国、韓国は、上期の受注実績および下期での新規案件獲得を見込み、受注高、売上高ともに上方修正。
- 米国は、精密洗浄の下期の売上拡大を見込み上方修正。

地域別売上高

（単位：億円）	2022/3期 実績	2023/3期 見通し	前期比	前回見通し (7/29発表)
アジア	312	451	+ 139	399
北南米	227	313	+ 86	309
合計	540	765	+ 225	708

増減要因（億円）

オーガニック増減	+ 133
為替影響	+ 92

サービス事業売上高内訳

(単位：億円)	2022/3期 実績	2023/3期 見通し	前期比	前回見通し (7/29発表)
水処理薬品事業	1,177	1,360	+ 183	1,335
水処理装置事業	1,353	1,601	+ 248	1,551
超純水供給事業	347	408	+ 61	397
国内精密洗浄	95	96	+ 1	102
海外精密洗浄	151	217	+ 66	208
土壌浄化	44	55	+ 11	60
国内メンテナンス	553	623	+ 70	582
海外メンテナンス	142	176	+ 35	176
その他	22	25	+ 4	27
合計	2,529	2,961	+ 431	2,886

- 主に水処理薬品事業や国内メンテナンスの伸長により上方修正。

設備投資額・減価償却費・研究開発費

(単位：億円)	2022/3期 実績	2023/3期 見通し	前期比	前回見通し (7/29発表)
設備投資額（有形*）	664	537	△ 127	537
減価償却費（有形*）	201	235	+ 34	235
水処理薬品事業	42	44	+ 2	44
水処理装置事業	159	191	+ 32	191
研究開発費	54	58	+ 5	58
水処理薬品事業	15	17	+ 1	17
水処理装置事業	39	42	+ 3	42

* 使用権資産含む。

- 設備投資額、減価償却費、研究開発費の見通しは、変更なし。
- 超純水供給事業における投資計画も変更なし。

3 | 重点施策の進捗

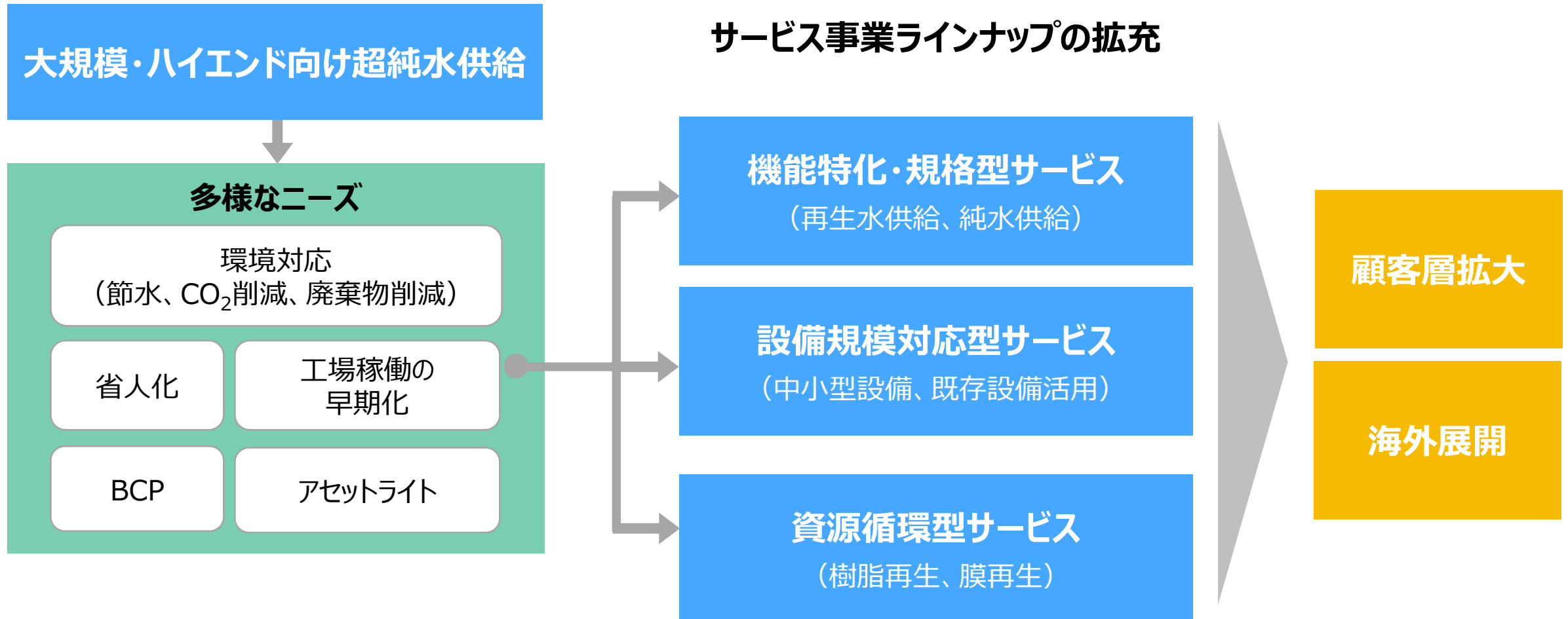
成長に向けた収益基盤強化と事業展開



強固な収益基盤を活かし成長を加速



社会課題・顧客課題を起点にニーズを掘り起こす



グループのシナジーを活かし新たな需要を獲得

クリテックサービス

売上高 96億円

拠点 国内8か所



(2022年3月期)

ペンタゴン・テクノロジーズ

売上高 151億円

拠点 米国7か所、欧州1か所



(2022年3月期)



グループ内の高い技術とノウハウをOne Teamで展開

- 洗浄対象の拡大
- 洗浄効率の向上
- 環境負荷低減

半導体メーカーから製造装置メーカーまで

グローバル企業に世界同一水準のサービスを提供

価値起点のサービス事業を拡充

製鉄原料管理における事例

AI解析

空撮データ（顧客工場）
■ 原料表層の水分量
■ 原料パイルの状況



オープンデータ
■ 気象データ

原料ヤードのリスクの可視化

原料改質処理の最適化

製紙プロセスにおける事例

【センシング】水質の計測、監視、解析、薬注制御



原料工程



抄紙工程



排水工程

水質・操業データの蓄積と可視化

障害の原因特定と予兆診断

産業インフラ分野における安定操業・環境負荷低減への貢献



石油・石油化学



鉄鋼



紙パルプ



将来見通しに関する注記事項

本資料に掲載されている計画数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであるため、リスクや不確実性を含んでおり、実際の業績はこれと異なる可能性があります。

本資料内で使用している商標（製品、サービス、ロゴ）は、当社または当社に使用を認めた権利者に帰属します。